

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	機械工学基礎研究	担当教員	機械工学科教員		
学年学科	4年 機械工学科	後期	必修	2単位(学修)	別表2対象科目
学習・教育目標	C-1(30%) E(20%)	C-2(30%)	D-4(20%)	JABEE 基準 1 (1): (d) (30%) (f) (60%) (g) (5%) (h) (5%)	
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 配属された研究室で、論文購読、課題実験、技術レポート作成、プレゼンテーション等の実施を通して、第5学年で実施される卒業研究の遂行能力を養成する。これらの実施により、下記能力の養成が期待される。 ①技術論文の読解力 ②技術レポート作成能力 ③技術的なプレゼンテーション能力 ④機械工学の専門技術に関する知識 ⑤情報処理機器の利用技術の養成		<b>成績評価の方法：</b> 下記2項目について100点満点で評価し、両者とも60点以上の場合を合格とする。合格の場合、成績評価を8とする。 1) 配属先指導教員の課題レポート 2) 課題に対するプレゼンテーション <b>達成度評価の基準：</b> 以下の5項目の重み付けは同等である。達成度の評価は、課題レポートとプレゼンテーションの成果によってなされる。 ①技術論文の読解力の基礎が身についている。 ②技術レポート作成能力の基礎が身についている。 ③技術的なプレゼンテーション能力の基礎が身についている。 ④機械工学の専門技術に関する知識を深めることができている。 ⑤技術論文作成、あるいはプレゼンテーション準備の機会を通じて情報処理機器の利用技術が習得できている。			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> ① 各研究室の配属は、第1回授業で希望調査を行い決定する。 ② 本教科目について、週に90分のコマを2回設けるので、配属先の教員との連絡を密にすること。また、当該の授業時間外にも積極的に指導を受けるよう努めること。 ③ プレゼンテーションの準備には教室のパソコン、機械デザインラボ、あるいは所属研究室の備品を利用する。					
<b>教科書および参考書：</b> 各指導教員の指示した教科書・参考書を使用する。					
<b>授業の概要と予定：後期</b>			<b>教室外学修</b>		
第1回：全体ガイダンス・シラバス配布					
第2回：配属先研究室における課題取り組み1					
第3回：配属先研究室における課題取り組み2					
第4回：配属先研究室における課題取り組み3			個別課題のレポート作成		
第5回：配属先研究室における課題取り組み4					
第6回：配属先研究室における課題取り組み5					
第7回：配属先研究室における課題取り組み6					
第8回：各指導教員による中間のまとめ			レポート提出・指摘事項の修正		
第9回：配属先研究室における課題取り組み7					
第10回：配属先研究室における課題取り組み8			個別課題のレポート作成		
第11回：配属先研究室における課題取り組み9					
第12回：配属先研究室における課題取り組み10					
第13回：個別課題のプレゼンテーション準備1			個別課題プレゼンテーション準備		
第14回：個別課題のプレゼンテーション準備2					
第15回：個別課題のプレゼンテーション準備3					
報告会			—		
第16回：フォローアップ			—		